

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	浦和大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ウラワダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	こども学部こども学科
	担当教職員名・役職	山口和孝学部長、五十嵐裕子教授、岩本裕子教授、金井玲子教授、菅野陽子教授、高野実貴雄教授、船木美佳教授、皆川順教授、亙理史子教授、丸谷充子准教授、瓜巢由紀子准教授、五味美奈子講師、柴田崇浩講師、宮崎静香講師、高橋博美学生・就職課長、横地喜代志学生課員
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	13	
受入企業等数	11	
受入企業等名	株式会社大丸松坂屋松坂屋上野店、株式会社オンワード樺山、株式会社コナカ、株式会社ホテルオークラ東京ベイ、株式会社日本旅行東日本営業本部企画部システムトラベルセンター、NPO法人日本グット・トイ委員会、東洋興業株式会社浅草演芸ホール、望月印刷株式会社、埼玉トヨペット株式会社はあとねっと輪っふる、アフタースクールわんぱく(NPO法人)、美園いちごランド	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	館内での案内、説明、接客業務のほか、定期的で開催するワークショップの企画書を作成し、実習期間内に来場者を対象に開催する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3、4年次・前期
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業、NPO法人、地域の子育てひろばなどへの就労体験を通じて自らの適性を見つめ、就職への意識を高めるとともに、職場における基本マナーやチームワークの重要性を身に付けさせることを目的・ねらいとする。なお、事前指導や終了後の振り返り、巡回指導も行う。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている

要素③	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全6回の事前学習の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解、課題作文の作成・提出(第1回)、配属先の決定を受け、ビジネスマナーや「配属先に関する調査研究の意義と方法」を学び、「実習先研究シート」の作成と発表をおこない(第2～5回)、ビジネスマナーや守秘義務等に確認する。(第6回)
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験による学びについて、インターンシップ記録(日報)やレポートを用いた報告会(振り返り)を開催している。また、2年生対象授業「キャリア・ナビゲーション」等でインターンシップについて報告をさせている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中に実習先企業に教員が赴き、実習担当者との面談を実施する。また実習生とも面談を実施し、アドバイスや指導を行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施前には課題作文を作成・提出させている。インターンシップ期間中ははインターンシップ記録(日報)で日々の課題・目標を設定させ、業務終了後に反省及び次回の目標を設定させている。また、インターンシップ終了後はレポートも提出させる。これらを総合して教育的効果を測定している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間8・10・12・14日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施期間8日間、2社。実施期間10日間、8社。実施期間14日間、1社。いずれも期間中に休日をはさむ。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業様には、「積極性」「協調性」「社会性」「身だしなみ」「勤務態度」「業務理解度」「業務遂行」「接客対応」の項目について、5段階での評価をお願いしている。また、実習生に対するコメント、総合評価もお願いしている。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.urawa.ac.jp/
問い合わせ先	大学等名	浦和大学
	担当部署名	学生・就職課
	担当者役職名	学生・就職課長
	担当者氏名	高橋博美
	電話番号	048-878-3557
メールアドレス	gakusei@urawa.ac.jp	